

# 情報科教育法 a No.2

2020/5/18 & 5/19

## [1] 授業内容

- 現行の学習指導要領についての発表
  - Google Form で評価する

## [2] 教科「情報」の流れについて

- 1999年3月 教科「情報」が必修。「情報A」「情報B」「情報C」
  - 情報A：義務教育段階において情報手段の活用経験が浅い生徒でも充分履修できる
  - 情報B：コンピュータに興味・関心を持つ生徒が履修する
  - 情報C：情報社会やコミュニケーションに興味・関心を持つ生徒が履修する
- 2009年3月 科目変更。「社会と情報」「情報の科学」
  - 社会と情報：情報科の進む社会に積極的に参画することができる能力・態度を育てる
  - 情報の科学：社会の情報科の進展に主体的に寄与することができる能力・態度を育てる
- ※どちらも選択できるようにすることが望ましいが、ほとんどの学校では「社会と情報」を扱う
- 2018年3月 科目変更。「情報I」必修、「情報II」選択
  - 情報I：問題の発見・解決に向けて、事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報技術を適切かつ効果的に活用する力をすべての生徒に育む
  - 情報II：「情報I」の基礎の上に、情報システムや多様なデータを適切かつ効果的に活用する力や、コンテンツを創造する力を育む

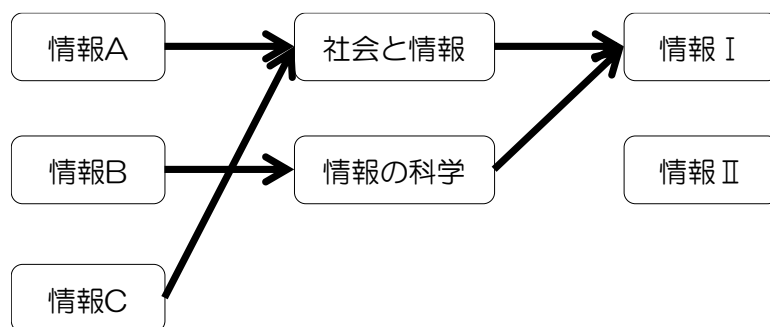


図 情報教育の流れ

## [3] 専門教科「情報」の流れ

- 1999年3月 11科目  
情報産業と社会、情報と表現、アルゴリズム、ネットワークシステム、情報システムの開発、コンピュータデザイン、図形と画像の処理、マルチメディア表現、課題研究、モデル化とシミュレーション
- 2009年3月 13科目  
情報産業と社会、情報の表現と管理、情報と問題解決、情報テクノロジー、アルゴリズムとプログラム、ネットワークシステム、データベース、情報システム実習、情報メディア、情報デザイン、表現メディアの編集と表現、情報コンテンツ実習、課題研究

• 2018年3月 12科目

情報産業と社会, 情報の表現と管理, 情報テクノロジー, 情報セキュリティ,  
 情報システムのプログラミング, ネットワークシステム, データベース, 情報デザイン,  
 コンテンツの創作と発信, メディアとサービス, 情報実習, 課題研究

	1999年	2009年	2018年
基礎的科目	情報産業と社会 情報と表現	情報産業と社会 情報の表現と管理 情報と問題解決 情報テクノロジー	情報産業と社会 情報の表現と管理 情報セキュリティ 情報テクノロジー
情報システム分野	アルゴリズム ネットワークシステム 情報システムの開発	アルゴリズムとプログラム ネットワークシステム データベース 情報システム実習	情報システムのプログラミング ネットワークシステム データベース
コンテンツ分野	コンピュータデザイン 図形と画像の処理 マルチメディア表現	情報メディア 情報デザイン 情報コンテンツ実習 表現メディアの編集と表現	情報デザイン コンテンツの制作と発信 メディアとサービス
総合的科目	モデル化とシミュレーション 情報実習 課題研究	課題研究	課題研究 情報実習(情報システム分野+ コンテンツ分野)

[4] 演習

- 専門教科「情報」の現行学習指導要領を読み、その内容をまとめる。
- 以下の分野を分担する
  - 基礎的科目
  - 情報システム分野
  - コンテンツ分野
- 提出は所定の場所へ

[5] 課題

- 1) 現行の教科「情報」について、ほとんどの学校が「情報と社会」を選択している。その理由について考察せよ。
- 2) 学習指導要領の「専門科目による必履修科目の代替（総則第3款の2の(2)）」において、専門教科による普通教科の代替（普：社会と情報→専：情報産業と社会）ができる。あなたが、高校の情報の主任教員となり、科目を選択することができる場合、どの科目を履修させるかその理由とともに考えよ。
- 3) 前回の課題について、他人のコメントを見て Google Form にて評価してみよ

提出：Google Form  
 締め切り：金曜日まで